

令和6年1月25日(木)

1. JT九州工場の跡地処分の動き

- (1) 試掘を含め建物撤去工事については完了し、TSネットワークの分筆作業後、売却用地を確定
- (2) 今後、大手不動産業者における実勢価格（時価）の調査を行い、その後、不動産鑑定評価を実施
- (3) 実勢価格（時価）調査の結果を踏まえて、事前に概ねの売却見込み価格を2月中に、市に提示予定
- (4) JTとしては1月～12月の会計処理であるため、JT内部の売却方針決定後、12月までには売却を完了したい

2. 市としての今後の動き（見込み）

- (1) JTから概ねの売却価格が2月中に提示
- (2) 売却予定価格の確認、議会への報告、協議後、市としての対応方針の決定

※留意事項

- 購入については、筑紫野市土地開発公社による先行取得による
- 現時点で、市としての土地利用の計画はなく、仮に購入できれば、購入後、数年かけて土地利用計画を立案し、計画に基づき、買戻しを行う
- 財政負担（財源等）については、土地利用計画（必要な施設の建設費や買戻し額等の検討）の中で精査し、議会と協議を行う